

町政を問う！



藤本 浄孝 議員

7月豪雨に関する防災対策
と今後の対応について

問 西日本7月豪雨の際、屋代川、三蒲川、宮川において氾濫注意水位（警戒水位）を超えていたとの情報（県土木防災情報システム）があるが、避難案内・情報提供が適切であったかを伺う。屋代川においては支流が多く氾濫を心配する声があった。今後も起こりうる想定以上の降雨に対し、町による町内河川の管理と県による河川管理、ダム管理、砂防ダム管理と県への要望に関する現状認識を伺う。

土砂災害ハザードマップの更なる活用と作成時の想定降雨量と今回の降雨量の差を鑑み、想

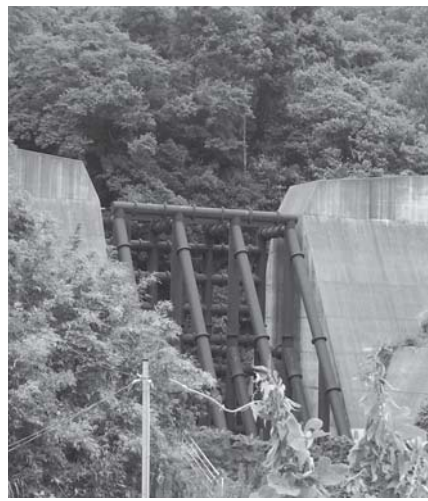
定外の降雨に対する新たな防災対策、避難対応、情報提供が課題となるが認識を伺う。

また個人所有地等において発生した土砂崩れや浸水に対し、現状確認と被害の報告・相談を受け、助言や罹災証明の発行を行う窓口が必要であると考えますが今後の取り組みについて伺う。

答 「山口県土木防災情報システム」で県内の主要河川について雨量や水位が計測されている。3河川は水防団待機水位を超過したため、消防団（水防団）に注意を促した。屋代川、宮川



河川水位観測地点（屋代橋）



砂防ダム（東屋代）

は一時的に氾濫注意水位を超えたが避難勧告等の発令基準水位でないため、発令しなかった。今後も気象状況を判断し案内と情報提供を行う。

河川管理については県から今年度も維持補修に取り組み予定と報告を受けている。屋代川の浚渫等の維持管理は地元自治会から毎年要望があり、県当局に強く要望する。避難のための地域活動の強化、自主防災組織の推進を図る。県と気象台と町で「減災対策協議会」を設立し体制を構築しており、ハザードマップも想定雨量を大きく超えた場合を想定するものとする。災害相談窓口は各総合支所が支援

内容を整理し対応する。

町立小中学校の 環境整備について

問 町立小中学校の空調設備の整備について現状認識を伺う。平成31年度に小中学校の空調設備の整備完了を旨指すとしているが、近年の猛暑により学業や健康に支障をきたすため、早期設置を求める。基地再編交付金、防音補助金の交付を待てば来夏までの設置は困難となるのであれば独自の設置も必要である。

児童・生徒数が多い大島中学校、久賀小学校への空調設置が急務であるが今後の設置予定を伺う。

答 町内小中学校の空調整備を進めている。昨年度は三蒲小及び油田小、本年度は沖浦小の設置工事を行っている。未整備である久賀小、大島中、東和中を出来るだけ早く整備し、学習環境の向上を図りたいのは同じ思いであり、31年度に設置工事が完了するよう努める。